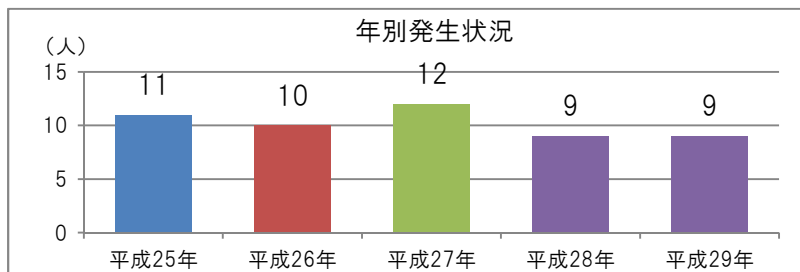
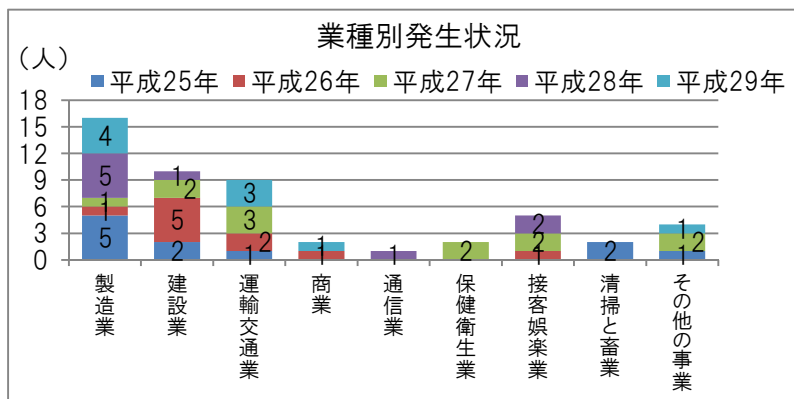


熱中症を防ごう!!

熱中症とは、高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の体温調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称で、**めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直、大量発汗、頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感、意識障害・痙攣・手足の運動障害、高体温**等のさまざまな症状が現れます。

群馬労働局管内で休業4日以上となった熱中症による死傷者数は、**製造業、建設業、運輸交通業**の順に発生しています。

5月から8月に発生し、**7月、8月**で多く発生しています（平成25年から29年の合計値）。



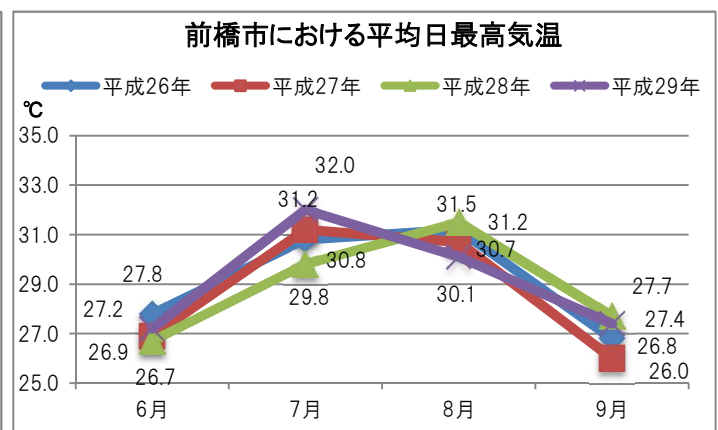
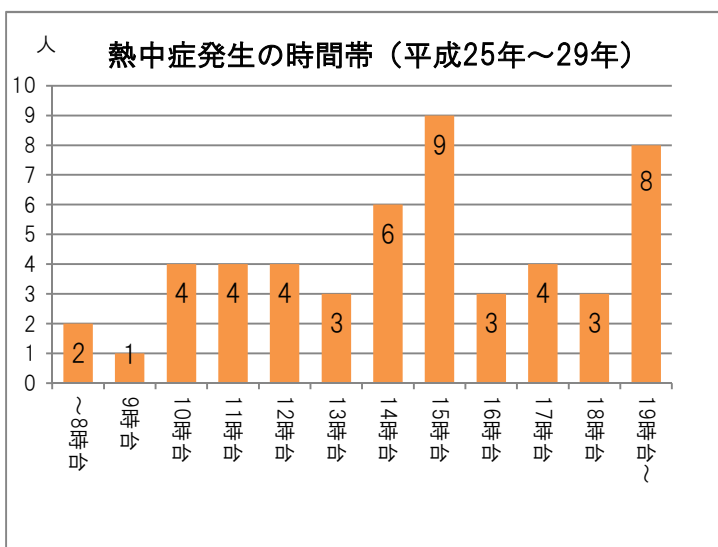
（資料：労働者死傷病報告）

業種	5月	6月	7月	8月	総計
製造業		1	9	6	16
建設業			5	5	10
運輸交通業			4	5	9
商業				2	2
通信業				1	1
保健衛生業		1		1	2
接客娯楽業	1		3	1	5
清掃・と畜				2	2
その他の事業			1	3	4
総計	1	2	22	26	51

熱中症の発生には、**気象条件（気温・湿度・風通し）・健康状態**が影響します。

（資料：労働者死傷病報告）

時間帯では**10時台から15時台で多く発生**しています。



（資料：気象庁 気象統計情報）

裏面もご覧ください

経験年数 1 年以内、40 歳代で多く発生しています!!

年代 経験 期間別	～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代～	総計
3 か月以内	3	1	2		1	7
6 か月以内	2	2	3			7
1 年以内				2		2
1 年以内計	5	3	5	2	1	16
3 年以内	3	1	4	1	2	11
5 年以内			2	1	1	4
10 年以内	1	2	2	1	3	9
20 年以内			4	2	3	9
30 年以内				1	1	2
総計	9	6	17	8	11	51

(資料：労働者死傷病報告（平成 25 年から 29 年の合計値）)

管理者による
体調確認!!

作業前
作業後

- 寝不足
- 朝食抜き
- 二日酔い
- 不慣れ
- がまん



【群馬県内で発生した熱中症の死亡災害事例】

発生月 時間	業種	発生状況	経験 年数	年齢
平成 22 年 8 月上旬 午後 7 時頃	農業	朝の午前 5 時ごろから、トウモロコシ畑で害虫の防除作業中、夕方 7 時ごろになっても、作業場に戻ってこないため、不審に思った社長が畑へ駆けつけたところ、畑の中で倒れていたのを発見された。	4 か月	50 歳代
平成 22 年 8 月下旬 午後 2 時頃	製造業	請負事業場先の工場内で、朝から溶接ロボットを使用して溶接作業に従事していたが、午後になって喉の違和感と熱さを同僚に訴え、帰宅した。工場から 400 メートル離れたコンビニエンスストア駐車場付近で倒れているところ発見され、病院に搬送されたが、翌日午前 8 時 35 分に死亡した。	1 か月	40 歳代
平成 26 年 8 月上旬 午後 1 時頃	建設業	木造 2 階建てのバルコニー防水工事の作業を行っていたところ、熱中症により倒れ病院に搬送後死亡した。	10 年	60 歳代

熱中症にかからないためには

- ・ 自覚症状の有無にかかわらずこまめに**水分・塩分**を摂りましょう
- ・ 休憩は**風通しのよい涼しい場所**でとりましょう
- ・ 直射日光や照り返しを遮るようにしましょう
- ・ 透湿性・通気性の良い服を着用しましょう
- ・ **睡眠不足**・体調不良にならないよう健康管理に気を付けましょう
- ・ 少しでも体調不良を感じたときは、**早めに申し出て医療機関で受診**しましょう